

平成 26 年度 通常総会

報 告 書

日時 平成 26 年 4 月 26 日 (土) 10:30~11:30

場所 NPO 法人 市民と共に創るホスピスケアの会事務所

特定非営利活動法人 市民と共に創るホスピスケアの会

〒060-0061

札幌市中央区南 1 条西 16 丁目 1-245 レーベンビル 3F

TEL/FAX 011-615-6060

総会次第

1. 開会のことば
2. 代表あいさつ
3. 議長選出
4. 書記および議事録証人の選出
5. 議事
 - (1) 平成 25 年度 事業報告 3 ~ 6 p
 - (2) 平成 25 年度 収支決算報告 7 p
 - (3) 平成 25 年度 監査報告 8 p
 - (4) 平成 25 年度 財産目録 9 p
 - (5) 平成 26 年度 事業計画案 10 ~ 11 p
 - (6) 平成 26 年度 収支予算案 12 p
 - (7) 平成 26 年度 役員 13 p
 - (8) その他
6. 議長退任

閉会のことば

平成 25 年度 事業報告

1. ホスピスケアを実践・推進するための事業

(1) ホスピスケアネットワークづくり

① 札幌ホスピス緩和ケアネットワークおよび死の臨床研究会北海道支部との連携

松本が札幌ホスピス緩和ケアネットワーク常任幹事、山田が札幌ホスピス緩和ケアネットワーク幹事、死の臨床研究会北海道支部常任世話人として参加した。

② 講座等の共催・協賛

- ・北日本血液研究会 NJHSG、特定非営利活動法人グループ・ネクサス主催「リンパ腫セミナー in 北海道」(6月1日、北海道大学医学部臨床講義棟2階大講堂)を後援した。
- ・難治性がん啓発キャンペーン実行委員会主催「難治性がん啓発キャンペーン 2013」(7月27日、道庁赤レンガ・かでる2・7)を後援し参加した。
- ・びよーいんあーとふろじえくと主催「いのち、そのクリエイティヴ・アート」(10月5日、十二使徒教会)を後援した。
- ・北海道、ピンクリボン in SAPPORO 主催「ワーキング・サバイバーズ・フォーラム 2014」(2月9日、京王プラザホテル札幌)に共催し、準備、開催に携わった。

(2) その他

- ・北海道委託がん患者相談支援体制整備促進事業のワーキンググループに、村永が7月から9月まで6回参加した。
- ・「北海道がんと闘う医療フェスタ 2013」(9月9日、北海道がんセンター・北海道共催)に他がん患者団体と共に参加し、それぞれの活動紹介と道と協力しがん予防や早期発見の大切さを呼びかけた。
- ・日本死の臨床研究会北海道支部に常任世話人(山田)として参加し、春・秋の研究会を開催した。(4月20日、藤女子大学 9月28日、小樽市医師会館)
- ・札幌ホスピス緩和ケアネットワーク第52回定例会に幹事(山田)として参加、司会を務めた。(11月16日、KKR 札幌医療センター3階大会議室)
- ・北海道がんセンター「ひだまりサロン」定例会、手稲渓仁会「さくら会」定例会および、他の患者会定例会等への参加・支援を行った。
- ・がん患者会有志による「ひだまりウィッグレンタルサロン」を開催した。
(毎月第2水曜日、第4金曜日、北海道がんセンター・がん患者活動サロン「ひだまり」)
- ・がん政策サミット 2012 (5月17-19日、東京)に山田が参加。
- ・第51回日本癌治療学会学術集会 (10月24-26日、京都)に山田が参加。

2. ホスピスケアの啓蒙及びそれに係る情報発信

(1) 会報の発行（年間3号発行）

第47号（25年07月30日）	1,000部
第48号（25年12月28日）	1,300部
第49号（26年03月31日）	1,300部

(2) 資料・教材の作成・販売

- ① 市民講座録音CD (3枚)
- ② 市民講座講義録 (3冊)
- ③ 気功DVD (38枚)
- ④ 気候録音テープ (7本)

(3) ホームページ・ブログ

canpan ブログ掲載情報を随時更新した。ホームページ管理は保留。

(4) 寄稿・取材・講演等

「がん患者や家族の連携・協働を考えるシンポジウム」（北海道主催、9月29日、TKPガーデンシティ札幌きょうさいサロン）ディスカッションに山田が参加した。

市民のための北海道がんフォーラム（エーザイ株式会社主催、10月5日、北海道がんセンター）において、「がん治療のつらさをカバー—自分らしさを取り戻し、笑顔のある生活を—」というテーマで山田が話した。

札幌市ボランティア研修センター・1日福祉セミナー（2月6日、札幌市ボランティア研修センター）にて「これからのがんホスピス～地域と共に～」というテーマで山田が話した。

緩和ケア認定看護師キャリアアップの会（2月1日、）にて、「」というテーマで村永が話した。

(5) 広報活動

公共機関・医療機関、マスコミ等へ当会事業及び関連イベントの案内チラシの配布や広報記事の掲載を依頼した。

イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンに5回延べ6名参加し、42,600円分の寄贈を受けた。

イオン北海道・発寒店と桑園店の市民まちづくり活動PRコーナー（「さぼーとほつと基金」パンフレットスタンド）を10月から3月まで利用し、会報、パンフレット、ちらしを設置し広報を行なった。

(6) 北海道医療計画・がん対策推進計画に対する働きかけ

北海道がん対策推進委員会の委員（山田）として、引き続き委員会、がん対策基金に係る検討会に参加。

（北海道ホームページ http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/gan_keikaku.htm）

3. 講座・研修会等の教育事業及び人材育成事業

(1) ホスピスケア市民講座

5月から11月まで6回開催し、延べ受講者247名

各講座の内容および受講者数は下記の通り

回数	開催日時	会場	テーマ(仮題)	講師	参加者数
214	4月14日(日) 13:30-15:30	かでる2・7 820 研修室	上き死と出会うために	石垣 靖子 氏 北海道医療大学大学院客員教授	39
215	6月16日(日) 13:30-15:30	かでる2・7 1060 会議室	胃がん撲滅計画 ピロリ菌除菌が効果	浅香 正博 氏 北海道大学大学院医学研究科 がん予防内科学講座特任教授	20
216	7月28日(日) 13:30-15:30	かでる2・7 1060 会議室	がんと向き合う がんはどうして起こるのか	小林 正伸 氏 北海道医療大学看護福祉学部教授	33
217	9月14日(土) 13:30-15:30	かでる2・7 1060 会議室	がん終末期のケア 在宅での看取りに携つて	門脇 瞳子 氏 緩和ケアクリニック・恵庭 訪問看護室 室長	35
218	10月19日(土) 13:30-15:30	かでる2・7 1060 会議室	がんサロンのすすめ	柏木 雅人 氏 がんサロン参加者・当会会員	43
219	11月30日(土) 13:30-15:30	かでる2・7 710 会議室	幸せに死ぬことが重要 なのか……死を前に受容と 絶望のはざまを歩く	宇都宮 輝夫 氏 北海道大学大学院文学研究科・ 文学部教授	77

4. 相談・支援等に係る事業

(1) ひまわりサロン

毎月第1、3火曜日（祝祭日を除く）および土曜サロンを当会事務所にて計27回開催し、延べ191名の参加を得た。

治療や仕事のため火曜日に参加できない人のために、初めての試みとして土曜サロンを6月15日、9月7日、12月7日の3回開催した。

(2) 気功教室

当会会員の那須博文氏を講師に開催。かでる2・7で3クール36回開催し、延べ619名が参加した。

(3) リフレクソロジー ミニ教室の実施

当会会員の林俊子氏を講師に、3回実施し延べ19名の参加を得た。

5月18日	12名
8月3日	1名
12月7日	6名

(4) 情報提供支援事業「ちえのわ」

平成 24 年 6 月から 11 月まで 5 回開催し、延べ受講者 68 名

各講座の内容および受講者数は下記の通り

内 容(対象・テーマ)	日 時	場 所	講 師	参加者数
がん療養中の食事 抗がん剤や放射線治療によって起こる 症状への対応と工夫	6 月 1 日(土) 13:00～15:00	天使大学	栄養士 (鈴木純子: 天使大学栄養学科) 看護師 (石岡明子: 北大病院)	14
緩和ケア病棟見学会	6 月 26 日(水) 14:00～16:00	札幌ひばり が丘病院	病院 MSW、他	20
リンパ浮腫の予防とセルフケア (講義と実技)	8 月 24 日(土) 13:30～15:30	かでる 2・7 1060 会議室	医師 (小林範子: 北海道大学産婦人科) リンパ浮腫治療セラピスト	13
緩和ケア病棟見学会	10 月 4 日(金) 14:00～15:30	東札幌病院	病院 MSW、他	17
抗がん剤の副作用のケア 分子標的薬による皮膚・爪障害	11 月 9 日(土) 13:30～15:30	かでる 2・7 1050 会議室	がん化学療法看護認定看護師(三宅亜矢、 他)	4

(5) 「なのはなの会」(がん患者遺族会)

毎月第 1 金曜日(正月 3 が日を除く)に、当会事務所にて計 11 回開催し、延べ 70 名の参加を得た。

5. その他

- (1) 平成 25 年 3 月から「ひだまりウィッグレンタルサロン」を、北海道がんセンター・がん患者活動サロン「ひだまり」において、毎月第 2 水曜日 13:00～15:00 と第 4 金曜日 10:00～12:00 に、ひだまりウィッグレンタルサロン主催、札幌美容協同組合後援、スヴェンソン、アブラック、株式会社アデランスの協力で開催した。3 月 12 日現在、60 個のウィッグをレンタルした。(5 月 26 日、北海道新聞に取材記事掲載)

平成 25 年度 会計監査報告

平成 25 年度の会計監査を行なった結果、現金および預貯金の残高、
ならびに帳簿の記載事項及び証拠書類等、すべて適正に処理されて
いることを認めます。

平成 26 年 3 月 29 日 監事 _____ 印

平成 26 年 3 月 29 日 監事 _____ 印

平成26年度 事業計画案

1. ホスピスケアを実践・推進するための事業

(1) ホスピスケアネットワークづくり

- ① 札幌ホスピス緩和ケアネットワークや死の臨床研究会北海道支部との連携

札幌ホスピス緩和ケアネットワークに幹事として、死の臨床研究会北海道支部に山田が常任世話人として参加し、医療の受け手のニーズ情報を提供する。

- ② 講座等の共催・協賛

講座共催や他団体行事への協賛等、他団体との連携に努める。

- ③ 他の患者団体主催行事等への協力

広報を含む支援・協力に努める。

(2) その他

患者・家族支援、医療者を含む連携について、方法や情報提供の検討を継続する。

2. ホスピスケアの啓蒙及びそれに係る情報発信

(1) 会報の発行

年間3号の発行。

(2) ホスピスケアに関する資料・教材の作成・販売

気功ビデオ・録音テープ・DVD

(3) ホームページ・ブログ

ブログ掲載情報を随時更新。ホームページ管理方法の検討。

(4) 寄稿・取材・講演等

当会の事業目的に沿う依頼について対応する。

(5) 広報活動

- ① 当会事業及び関連イベントの案内、広報を行う。

- ② イオンレシートキャンペーンへの参加と広報活動

(6) 北海道医療計画・がん対策推進計画に対する働きかけ

緩和医療およびがん対策についての働きかけを継続する。

3. 講座・研修会等の教育事業及び人材育成事業

(1) ホスピスケア市民講座

社会基盤としてのホスピスケアの充実に向けて、多角的な内容で継続する。

- ・全3講座を開催。共催は随時検討。
- ・定期講座の内容は別紙「ホスピスケア市民講座のご案内」参照。

4. 相談・支援等に係る事業

(1) ひまわりサロン

毎月第1、第3火曜日（正月、盆、祝祭日を除く）13：30～15：30。

土曜サロン、ナイトサロンを開催予定。詳細については別紙参照。

(2) 気功教室

12回を1コースとして計3クール開催。受講者は1回につき25名程度の定員。

(3) 情報提供支援事業「ちえのわ」

患者・家族の生活支援のための総合的なプログラムとして5回実施する。

(4) 「なのはなの会」がん患者遺族会

毎月第1金曜日（正月3が日を除く）13:30～15:30

身近な人を亡くされた方の悲しみをわかち合う会

5. その他

(1) リフレクソロジー ミニ教室（林俊子氏を講師に年3回）をこれまで19回実施してきたが参加者数の減少のため、開催を終了する。

(2) 会の目的であるホスピスケアを広げるという点では、緩和医療が医療制度の中で明確に位置付けられたことは一つのゴールと言える。

これまで会員各位のご支援を得て活動してこられたが、残念ながら会員数は減少し資金基盤も脆弱である。加えて代表の長期化も組織上不自然であり、会の運営や事務所運営についても、特定のボランティアメンバーに負担が集中する状態を解決できる見通しが立たない。

一定の目標達成と組織運営状況に鑑み当会の存続の意味を問い合わせし、N P O法人としての当会は、2年後の平成27年度末（平成28年3月31日）をもって解散する。平成26年度と27年度については、活動資金の状態に合わせて可能な限りの活動とする。

P. 12 26年度収支予算案

役員名簿

平成25年4月1日から平成27年3月31日まで

	役名	氏名
1	理事	まつもと かつひろ 松本 克弘
2	理事	さげはし ひでのり 提箸 秀典
3	理事	はやし としこ 林 俊子
4	監事	いながわ よしみち 稻川 良道
5	監事	こばやし ひでと 小林 秀人